

サイクルピア岸和田



利用者は小学生が中心だそうで、この日も平日ながら数人のお子さんがコースを走ったり、初心者講習を受けに来ていた。



サイクルピア岸和田のクラブハウス。ホームページは <http://cyclepia.deuxroues.net/index.html>



クラブハウス内1階は受付と、サイクルショップ、カフェがある。



2階にはシャワールーム付きのロッカールーム。



サイクルピア岸和田の北村理事長(左)と、大阪支部の中川選手。



岸和田競輪場のバックスタンド側にできたBMXコース。約5mあるというスタート台からは競輪のバンクも見渡せる。

競輪とBMXのコラボレーション誕生！

4月17日、岸和田競輪場内に本格的なBMXコースを持つ「サイクルピア岸和田」がオープン。競輪場にBMXコースという、ちよつと意外な組み合わせが話題となり、ご存知の方も多いいのでは。

サイクルピア岸和田は公式レースも開催できるBMXコースの他、シャワー付きロッカールームはもちろん、サイクルショップやカフェも備えたクラブハウスを併設。コース使用料だけでなく、BMXバイクをはじめ、ヘルメットやプロテクターなど装備一式のレンタルも無料と、会員登録してスポーツ保険に加入すれば誰でも気軽にBMXを楽しむこと

ができるようになっています。

この施設を運営しているのは、実は競輪選手会・大阪支部。元々は岸和田競輪場のバックスタンドを取り壊すことになった際、空いた敷地にオリピック種目にもなり今後注目のBMXのコースを造ってみてという競輪場からの発案がきっかけだそうで、運営を任せられることとなった大阪支部が「NPO法人ドールズ」を立ち上げ、競輪場と協力して施設の管理運営にあたっています。

ドールズの理事長であり、現在中心となつて施設業務を担当しているのが、今年

5月に選手を引退した前支部長の北村尚勝さん。オープン当初からかなりの来場者があったそうで、地元テレビで紹介されるなど反響も大きく、すでに会員も4000人を超えているのだとか。

BMXのコースからは競輪場のバンクがよく見え、これまで競輪を知らなかった方々が興味を持つたり、また逆に競輪ファンの方がびよんびよんとコブを飛び跳ねていくBMXバイクに歓声を上げるなど、BMXと競輪の融合が生まれつつあるそうで、北村理事長は「お互いにとつての相乗効果に繋がれば嬉しいですね」と話して下さいました。競輪界でもこの初の試みに補助事業という形で支援を行い、主に競技大会や初心者講習会などの開催に役立てられています。今回取材に同行していたたいた中川大祐選手のインタビューは35ページに掲載しています。